

2021年の新年を迎え 市議選・市長選で見解を表明



米原市民報

日本共産党米原市会議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党湖北地区議員団
事務局藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

今年の米原市は選挙の年です。2月の米原市長選、10月の米原市議選が予定されています。また本年10月で任期満了になる衆議院議員総選挙も必ずあります。日本共産党はコロナ禍で国民の命と暮らしを守り、市民と野党の連合で政権交代を実現するために奮闘しています。日本共産党湖北地区委員会は市議選と市長選での見解を表明しました。

米原市議選 予定候補者発表

日本共産党湖北地区委員会は昨年12月2日、本年10月31日に任期満了を迎える米原市議選に現職の山脇正孝(66)、前職の藤田正雄(68)両氏の擁立して、2議席実現をめざしすことを発表しました。



やまわき・まさたか／早稲田大学大学院法学研究科修士／元小学校教諭、シドニー、台北日本人学校派遣教諭。市議一期／岩脇農業組合長



ふじた・まさお／龍谷大学法学部卒業／長浜市職員を経て市議一期／党湖北地区議員団事務局長／米原革新懇共同代表、湖北生健会役員

(滋賀民報より転載)

米原市長選挙について 共産党の見解

次期米原市長選の対応について

2021年1月10日
日本共産党湖北地区委員会
日本共産党 米原市委員会
一、新型コロナウイルス感染症
感染者数が急増しており、「第3波」の感染拡大が市民のいのちやくらし、地域

経済に深刻な影響を及ぼしています。仕事が大幅に減り、収入の道がたたれる。倒産・廃業する。子育てや介護が苦境にたたされるなど、強い不安が広がっています。そのようななか、米原市においては、昨年5月以降、コロナ対策として市独自の支援策も打ち、子育てや営業と雇用を支援するための施策がきめ細かく実施されています。日本共産党は、党議員を先頭に、地域、職場、学園の根から市民を守るために、行政とも力を合わせて全力をあげます。

一、この間の平尾市政は、憲法九条を守り、原発のない社会をめざすという立場を明らかにしてきました。また、地方自治を重視する姿勢もうかがえます。このことは、市民のくらしを大本から支える地方政治として高く評価されます。この間、日本共産党は、市民のみなさんと力をあわせて、その願い・要求を実現するために努力してきました。保育料の軽減・第2子からの無料化、中学校卒業までの医療費完全無料化のほか、全小中学校のエアコン整備、給付型奨学金制度、相乗タクシー(まいちゃん号)の利用改善などが実施されました。また、駅西口のスーパー平和堂の存続運動を市民のみなさんとともにすすめ、市もその願いに理解を示しました。一方、「まちづくり」、子育て、教育・福祉、公共交通、農業などで、市に対して支援、充実を求める声もあがっています。

雑感

(要望書は裏面です。)

新年あけましておめでとうございます。昨年一年間といえは新型コロナウイルスの感染拡大の一年でした。緊急事態宣言で多くの混乱を引き起こしました。今年も猛威は衰えず、9日は全国で過去最多で5700人を越える感染者がでました。滋賀県でも今コロナ入院患者の病床のひっ迫が進んで86%になっていきます。医療崩壊という事態が切迫しています。いまこそ「検査体制」をしっかり確立して無症状感染者の「保護」「追跡」を行なわなければなりません。個人の対応だけでなくどうにもなりません。今こそ菅政権の無為無策、そして「自助」を求める「新自由主義」政治の転換が求められています。また県政もPCR検査などの体制をしっかり確立すべきです。米原市議会も「議員報酬の引き上げ」や「議員定数削減」など今議論すべきではありません。やるべきは市民の命と暮らしを守る政治です。今年も頑張りたい。

米原市長選挙に あたっての要望書

2021（令和3年）2月21日投票の米原市長選挙にあたり、日本共産党湖北地区委員会は平尾道雄氏に対して、市政運営にかかわる要望を示し、その実現のために互いに誠意を持って努力することをよびかけます。

1、市政運営の基本姿勢

① 菅政権の地方壊しを許さず、憲法で定める豊かな人権条項を生かし、住民福祉の増進という地方自治体の役割を発揮するために努力する。

② 憲法・地方自治法で定める「全体の奉仕者」の立場で、市民の声に耳を傾け、誠実に課題に取り組む。

2、重点政策・公約

（1）新型コロナ危機から市民のいのちと暮らしを守るために、継続的に財政支出をおこなない、独自支援策をすすめる。

（2）憲法9条改憲を許さず、平和と民主主義、基本的人権を生かす政治を実現する。

（3）原発再稼働を許さず、原発のない社会をめざす。

（4）くらし

① 介護保険料、国民健康保険税については、保険料（税）の引き上げに歯止めをかけ、負担の軽減に努力する。また、国民健康保険の子ども均等割軽減に努力する。

② 安価で便利な地域をまたぐ公共交通網のさらなる整備（まいちやん号の市内料金一律化など）に努力する。

（5）子育て、教育、保育

① 子育て環境の整髪、子育てにかかる経済負担の軽減に努力する。

② 給食の無償化など、給食費の負担軽減に努力する。

③ 教職員や小中学校支援員、保育士、放課後児童クラブ支援員の増員を図り。子どもたちが安心して過ごせる学校・園・放課後児童クラブの実現に努力する。

④ 保育士、放課後児童クラブ支援員等の給与の引き上げに努力する。

（6）農業

⑤ 学校図書費を増額するなど、読書環境のさらなる充実を図る。

（7）その他

① 農業機械の更新補助、修理代の補助など、集落営農や家族農業への支援をすすめる。

② 鳥獣害対策の充実を図る。

③ 「まちづくり」の推進にあたっては、どの地域においても市民の健康で豊かな生活を保障することを重点に、市民とともにすすめる市政を堅持する。

2020年12月25日
米原市長選挙予定候補
平尾道雄様

日本共産党湖北地区委員会
委員長 山田満

訂正
前号の採決結果に誤りがありました。下記の通り訂正します。ご迷惑をかけ申し訳ありませんでした。

議員名	会派名	近江学びあいステーション指定管理
鹿取和幸	新風クラブ	×
鏑田 明	清風クラブ	○
田中眞示	清風クラブ	○
結果		可決

比例は「日本共産党」 選挙区は野党統一候補へ

今年（令和3年）日本の行方と暮らしに大きな影響を与える総選挙が行われます。強権・冷酷、コロナ無策の菅政権は退陣に追い込み、野党連合政権で希望の持てる新しい政治を実現しましょう。

日本共産党を含む「オール野党」が本気の共闘をすれば、衆議院で過半数を獲得することが可能です。野党共闘のカナメ、日本共産党を比例代表選挙で大きく伸ばし、小選挙区でも勝たせてください。ご支援よろしく願います。



国体委員長
こくた 恵二

前衆議院議員
宮本たけし

衆議院議員
清水ただし

尼崎市議
こむら 潤